

地域発・防災ラジオドラマ
グループ名「流通科学大学FM Free」
タイトル「想（おもい）〜つながる絆〜」

プロローグ

時は2020年。神戸市にFM Freeという1つのコミュニティFMがあります。この放送局は2010年に当時大学生だった彼らが防災ラジオ講座を受講したことをきっかけに生まれました。この局は災害時や地域イベントの際に限り開局されます。そして今…地震が起こった。

登場人物

妙法寺 蓮 <small>みょうほうじ れん</small>	FM Freeメンバー・20代後半・リーダー的存在
神戸 慎太郎 <small>かんべ しんたろう</small>	FM Freeメンバー・20代後半・ムードメーカー
岡本 幸子 <small>おかもと さちこ</small>	FM Freeメンバー・30代前半・メインパーソナリティー
長田 ひかり <small>ながた ひかり</small>	FM Freeメンバー・20代後半・妙法寺の右腕的存在
周成 <small>しゅうせい</small>	中国人女性・20代前半
嵐山 京子 <small>あらしやま きょうこ</small>	FMみらいメンバー・30代後半

♪地震の起こる音

ナレーター：「地震発生から30分、FM Freeのメンバーが続々と集まってきた。」

♪皆が集まる音（車のエンジン音・自転車の音など）

妙法寺蓮：「おう大丈夫やったか？皆、久しぶりやな！みんな集まってるか？」

神戸慎太郎：「岡本さんが来ていない…。」

♪電話の着信（プルルル…。）

岡本幸子：「あ。もしもし？みんな大丈夫？今、3丁目の川の西側におるんやけど、道路が塞がっとなって…。」

長田ひかり：「ちよっと待ってよ。」

♪パソコンの音（カチャカチャ）

長田ひかり：「地域危険度マップを見たら、西側は危険度7だから川の東側の方が被害が少ないと思うの。」

岡本幸子：「川の東側やな！急いで行くわ！」

♪電話を切る音（プチッ）

長田ひかり：「岡本さん、急いで来るみたい。」

神戸慎太郎：「了解。それじゃあ始めようか。」

妙法寺蓮：「避難情報をお伝えします。現在、東小学校が避難所になっているようですが混雑しているとのこととです。隣の西小学校に避難してください。」

♪入口の扉を叩く音（ドンドンドン）ガチャ！（扉を開く音）

長田ひかり：「どうしたんですか？」

周成：「求求途們、救救我朋友、他快不行了、剛剛發生了地震、求求途們救救他。」
（パニック状態なので早口な中国語）

長田ひかり：「えっ？えっ？避難所はここじゃないですよ。」（分からないので困惑）

周成：「あつ、ごめん。私、もうダメ。」

長田ひかり：「落ち着いて下さい！どういうことですか？」（話がつかめていない感じ。）

周成：「友達、死んだ、大変、助けて、A型、RH-の血、いる、助けて」

長田ひかり：「え？要するに、輸血が必要ってことですよ？もしかしてRH-
って…。」（ちよっと自信がない感じ）

妙法寺蓮：「そうだ。あの約200人に1人と言われているめったにない血液
だ。」（入り込む様に）

周成：「お願い！友達を助けて！」（泣きすがるように）

妙法寺蓮：「大丈夫。君の友達は絶対に助ける。」（落ち着かせる様に。）

周成：「本当に？ありがとう、ありがとう。」（泣きながら）

長田ひかり：「とりあえずRH-の人が居ないかラジオで呼びかけてみよう！」

神戸慎太郎：「おう！」

♪機械を操作する音（カチャ、カチャカチャ）

長田ひかり：「よし！準備出来た！」

神戸慎太郎：「お、おう。それじゃ始めようか。」（緊張した感じで。）

妙法寺蓮：「おい、大丈夫か。（異変に気付いた感じ。）ラジオ講座で習ったやつ
やって落ち着け。（冷静に落ち着かせる様に）」

神戸慎太郎：「ふうー（深呼吸）、そうだな。すうー（息を吸う音）あ、え、い、
う、え、お、あ、お。（発声練習）よし、もう大丈夫だ！始めて
くれ！」

妙法寺蓮：「わかった。いくぞ。3・2・1・」

♪放送を始めるスイッチ音（カチャ）

神戸慎太郎：「皆さん聞いて下さい！今、ひかり病院で輸血を必要としている方
がいます。A型RH-の血液を早急に輸血しないと命に関わる
危険性があります。自分や周りの方でA型RH-だという方は
すぐにひかり病院にて輸血協力をお願いします！」

♪放送が終わる音（プツッ）

長田ひかり：「お疲れ様。とりあえず伝わったことを祈って待とう。」

神戸慎太郎：「そうだね。」

♪時計の針の音（カチカチカチ）

神戸慎太郎：「まだか連絡は。」（焦った感じ）

長田ひかり：「もしかしたら電波が届く範囲にはRH-型の人は居ないのかも…
しかも、いつも喋っている岡本さんじゃないからうまく伝わらないのかもしれない…。」

神戸慎太郎：「そんな…。」

♪走る音＋ドアの音

妙法寺・長田・神戸：「岡本さん!!」

岡本幸子：「遅れてゴメン！さっきは助かったわ！」

妙法寺蓮：「よし！じゃあ岡本さんは放送を、長田は他局に応援を頼む。」

長田ひかり：「よし、あそこに電話してみよう。」

♪電話を掛け、取られる音

嵐山京子：「はい、こちらはFMみらいです。」

長田ひかり：「あ、もしもし。私FM Freeの長田と申しますが嵐山さんい
らっしゃいますか？」

嵐山京子：「ああ！長田さん！大丈夫ですか?!」

長田ひかり：「嵐山さん！こっちは大丈夫です。今ひかり病院でA型RH-の血液が不足していて…そちらでもRH-の人がいないか呼びかけてもらえませんか?!」（少し早口で急いでいる感じ）

嵐山京子：「分かりました！こちらでも呼びかけてみます！それでは失礼します!」（急いでいる感じ）

♪電話が切れる音（プウー、プウー、プウー）

妙法寺蓮：「よし、こっちももう1回呼びかけてみよう。岡本さん、準備は良いですか?」

岡本幸子：「オッケーです!」

♪機材を準備する音

妙法寺蓮：「じゃ行きます!3・2・1」

岡本幸子：「FM Freeの岡本です。皆さん聞いて下さい。今、ひかり病院で輸血を必要としている方がいます。A型RH-の血液を早急に輸血しないと命に関わる危険性があります。自分や周りの人でA型RH-だという方はすぐにひかり病院にて輸血協力をお願い致します。」

♪放送が終わる音（ガチャ）

神戸慎太郎：「ふう〜…後は信じて待つのみか…。」

妙法寺蓮：「そうだな。上手くいくことを信じよう。」

♪電話の着信音

長田ひかり：「はい、はい、はい、そうですか。ありがとうございます。失礼します。」

周成：「ど、どうなったの？大丈夫？」

長田ひかり：「大丈夫ですよ。病院から無事血液が見つかったと連絡がきました。

安心してください。」

周成：「本当に？良かった。ありがとうございます。本当にありがとうございます。」（泣きながら）

♪電話の発信音

長田ひかり「もしもし？FM Freeの長田です。あつ、嵐山さん？先程、

病院から連絡がありました。ご協力ありがとうございます。」

嵐山京子：「いえいえ、困ったときにはお互い様やからね。」

長田ひかり：「でも、まだ輸血を必要としている人がいるので、引き続き呼びかけてもらえますか？」

嵐山京子：「わかりました！大変でしょうけど、我々もできる限りの協力はするので、何かあればすぐに連絡して下さい。」

長田ひかり：「ありがとうございます。では、また。」

♪電話が切れる音

妙法寺蓮：「さあ！もつといろんなことに声をかけて協力してもらおう！1人でも多くの人を救うために俺たちの出来ることをやってみよう！」

ナレーター：「その後、様々な地域コミュニティラジオの協力により街は復興に向かった。その数ヶ月後、FM Freeが救ったひとりの女性の手紙が中国大使館から届いた。手紙には「あの時はありがとう。FM Free大好き」と書かれていた。この手紙は1つ1つは小さな力でも人を思う気持ちがあれば、大きな絆を生むことを証明してくれた。この経験とつながりを未来へと…。」